

あぐり

最前線



土壌分析をしましょう！ —コスト低減に向けて—

J Aでは、肥料の過剰施肥による無駄をなくしコスト低減に繋げるため、土壌分析を毎月実施しています。分析を希望される方は、約1合程度(20g)を採土し、必ず土壌を乾燥させてから袋に入れ、住所氏名「E」と、水稻・野菜(キャベツ、ハクサイ…等・果樹(ミカン、カキ…等)など品目名を記入して、9月18日(金)までに各支店へご持参ください。分析結果は10月中旬頃にご連絡致します。

市場出荷休日カレンダー (野菜・果樹)

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

×は出荷できない日 □は日曜・祝日等

※防除薬剤のあとの数字は、安全使用基準で、(収穫何日前まで使用可能か/通算使用可能回数)を表しています。農薬は農業安全使用基準を守り、正しく適期に防除してください。

例)表記が(14日/2回)の場合:収穫14日前までに2回使用可能



良質米に仕上げて
いよいよ極早生品種から収穫を迎えます。JAの栽培ごみでは、6月5日田植えで左記を収穫予定日としていますが、生育状況を見て適期刈り取りを励行してください。

(6月5日田植えの場合)

※キヌヒカリ▽9月7日~13日

※きぬむすめ▽9月20日~30日

※ヒノヒカリ▽9月25日~10月5日

※にこまる▽9月28日~10月8日

●登熟期

・登熟初中期は、デンプンの蓄積が盛んな時期なので、間断かんがいをを行い可

能な限り落水時期を遅らせましょう。
・登熟期に高温が続くと白未熟粒が発生し、品質が低下してしまいます。

ポイント

- ①早期に落水すると、登熟不良により胴割粒、未熟粒等が増加して外観品質が低下するとともに、玄米中のタンパク質含有率が高まり食味も低下します。コンバイン収穫に支障がない範囲で落水時期を遅らせましょう。また、遅めの落水は高温年における白未熟粒の発生などの高温障害を抑えられます。
- ②落水の目安は収穫の5~10日前で、水田の乾湿、降雨状況を加味して加減してください。

●収穫

・高品質良食味米の生産には適期収穫が不可欠です。
・早刈りは、青米や未熟粒の増加や収量低下の原因となります。逆に、刈り遅れは、着色粒や胴割粒が増加して品質低下を招きます。また、倒伏を助長し、収穫作業に支障をきたします。

ポイント

- ①収穫適期は、黄化した籾割合が85~90%程度になった頃を目安とします。
- ②多肥栽培では、茎葉や穂軸は青くても籾は成熟している場合があります。やせ地などでは、茎葉や穂軸が黄化しても籾は熟していない場合があります。茎葉の色だけで収穫適期を判断せず、籾の黄化具合で判断しましょう。

トビイロウンカの発生予察注意報が発令されました。

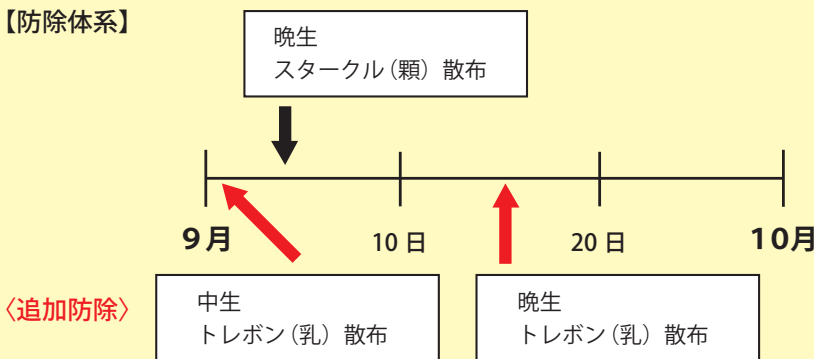
和歌山県で8月中旬、県北部および中部でのトビイロウンカの発生に伴い、病害虫発生予察注意報が発令されました。当JA管内でも平年より多い発生が確認されていますので、防除対策を行ってください。

【防除対策】

- ①早生品種など収穫適期を迎えた圃場は、速やかに収穫する。
- ②圃場ごとに発生状況を確認し、適期に

薬剤防除を行う。
※防除方法は左記のとおり。

【防除体系】



※防除薬剤が株元までしっかりかかるように散布してください!

キャベツ・ハクサイ ブロッコリー



●育苗
▽播種後
日焼け防止のため寒冷紗等で被覆し、プラグトレイの7割程度が発芽した頃に除去します。除去が遅れると苗が徒長し、軟弱になるので注意してください。

●液肥
播種10日頃から生育を見ながら、液肥を100倍で施用してください。

●病害虫防除
▽播種時
・プリンス(粒) 20〜30g/トレイ(1回) ※ハクサイでは使用できません。
または
▽播種後土後
・ミネクトデュオ(粒) 40g/トレイ(1回)

▽育苗期後半〜定植当日
・ペリマークSC 400倍(0.5ℓ灌注/トレイ)(1回)
*ミネクトデュオ(粒)とペリマークSCは併用できません。
▽定植前日〜当日(根こぶ病対策)
・ランマン(フ) 500倍(2ℓ灌注/トレイ)(1回)

●定植
苗の大きさが、本葉3〜4枚の頃が定植適期です。老化苗は、活着が悪く生育不良の原因となるため注意してください。 ※キャベツ・ブロッコリー 25〜30日苗を定植します。 ※ハクサイ 18〜20日苗(若苗)での定植を心掛けてください。

モモ



9〜10月は貯蔵養分を蓄える時期です。土作りにより、樹体の維持・向上に努めましょう。

●土作り
・完熟堆肥(200kg/10a)
または
・新ふりかけ堆肥eco(200kg/10a)
・苦土セルカフミン(120kg/10a)*各年
●夏期剪定
秋季に樹体内養分を蓄積する前に、不要な立ち枝や徒長枝を切除することで樹勢を落ち着かせる効果があります。また、側枝への日当たりがよくなり花芽や葉芽が充実します。ただし、樹勢の弱い樹では、ますます樹勢を弱らせることになるため控えてください。

●病害虫防除
◎コスカシバ
幼虫が幹や枝の樹皮を食害する害虫です。加害された樹は、樹勢が弱まり枯死する場合もあります。薬剤散布は、樹幹部及び主枝に丁寧に散布しましょう。
・スプラサイドM 200倍(60日/2回)

イチジク



引き続き適期収穫に努めましょう。

●収穫
収穫は果実温の上がらない早朝に行い、熟度を確かめながら果実のつけ根の部分を持って丁寧に収穫してください。

●定植
苗の大きさが、本葉3〜4枚の頃が定植適期です。老化苗は、活着が悪く生育不良の原因となるため注意してください。 ※キャベツ・ブロッコリー 25〜30日苗を定植します。 ※ハクサイ 18〜20日苗(若苗)での定植を心掛けてください。

●施肥
やむを得ず老化苗を定植した場合や活着不良の場合は、定植3〜4日後に、千代田472(40kg/10a)を植筋に施用し、初期生育を促しましょう。

レタス



●播種
プラグトレイに与作N15を土詰めし播種したあと、パーミキュライト等で覆い、灌水してください。

●定植
本葉3〜4枚の苗を、根鉢を崩さないように浅植えにします。苗には植え付け前日に、十分に灌水をしておくと根鉢を崩すことなく定植ができます。

また、雨の日の収穫果実はカビや傷みの発生が多くなるため、注意して選果選別しましょう。
適熟果の日安は、果実の重みで下重し、耳たぶくらいの硬さの果実です。
●わき芽かき
わき芽が伸びすぎると下部の果実が影になり、着色不良となるため、わき芽が伸びる前に取り除きましょう。
●灌水
樹勢維持のため、土壌の乾き具合を見ながら灌水を行ってください。ただし、一度に多くの灌水をすると、裂果や糖度低下の原因となるため、晴天が続く場合は3日間隔で10aあたり300ℓを目安に灌水を実施しましょう。

●病害虫防除
◎さび病
・アンビル(フ) 1000倍(前日/2回)
または
・ラリー(水) 2000倍(前日/4回)
◎ハダニ類
・ニツラン(水) 2000倍(前日/2回)
または
・パロック(フ) 2000倍(前日/1回)
◎アザミウマ類
・スカウト(フ) 2000倍(前日/3回)
または
・ディアナWDG 5000倍(前日/2回)

カキ



9月に入ると早生の着色期に入ります。9月中旬にシルバーマルチを敷設しましょう。

●除草
定植直前に10a当たり、トレイファンサイド(乳)200〜300mlを水100ℓに溶かし、土壌表面に散布します。

ダイコン



●作型
青首ダイコンでは、年内収穫、年明け収穫がありますが、いずれの作型でも若どりが大切です。適期収穫に努めてください。

●施肥
施肥、とりわけ追肥は分けて施用するほど、若々しいダイコンになります。
●病害虫防除
◎黒斑細菌病
黒斑細菌病は、土中で1年以上生きています。土が第1次伝染病源となって、土壌と空気から伝染します。高温多雨の年に多発するので予防散布に重点を置いてください。なお、発病は肥料切れや風雨・霜により生じた傷口から感染します。
▽10月上旬
・カセット(水) 1000倍(14日/3回)
▽10月中旬 ※年内どり品種
・マイコシルド 750〜1000倍(14日/3回)

◎テップウ虫(キスジノミハムシ)
ダイコンの根部に小さな穴を開ける害虫です。この虫は、幼虫になって土の深いところで越冬し、7〜8月に土中で蛹になり、10日程度で蛾になります。この

●刀根早生の摘葉
収穫10〜15日前より果実にかぶさるような葉を3枚程度摘み取り着色向上に努めてください。
●平核無・富有
小玉・傷果等の見直し摘果と摘葉を行いましょ。

●病害虫防除
▽9月下旬 ※富有柿
◎カメムシ類
・スタークル(顆) 2000倍(前日/3回)
◎うどんこ病・炭そ病
・スコア(顆) 3000倍(前日/3回)
台風や秋雨で降雨が続いた場合、炭そ病の発生が多くなります。炭そ病は、はじめに黒い斑点が現れ、しだいに病斑が拡大して指で押したように少しくぼんだ直径1cmくらいの大きさになります。発病した果実は落下しやすく、成熟間際の果実では早く着色するのが特徴です。気象に注意して薬剤散布しましょう。

●極早生の収穫が始まります。
●樹上選果
極早生の中でも早熟系統の品種の収穫が9月下旬から始まります。収穫前に、品質の劣る日焼け果や傷果を取り除きましょ。また、減酸が極めて早く進みますので、適期収穫に努めてください。
●仕上げ摘果
早生・中晩生種については、品質の仕上げ期になりますので、仕上げ摘果や低

蛾がダイコンの株元に卵を生み、卵は10日〜3週間でふ化し食害します。
▽播種時
・フォース(粒) 6〜9kg/10a(全面土壌混和)
耕種防除では、有機と名のつく肥料の追肥は絶対に施用しないでください。
◎白さび病(ツツカ症)
多発園ではチツソ肥料を減らすとともに、土壌消毒及び
・ダコニール1000 1000倍(45日/3回)
または
・ランマン(フ) 2000倍(3日/3回)
を間引き直後に1回目、その10日後に2回目、その10日後に3回目の散布をましょ。このとき地際部まで濡れるように「たつぷり」と散布することが大切です。

青ネギ



●定植
畝幅120〜130cmに4条植えにします。苗を15cmぐらいに切りつめ、株間12〜15cm毎に1カ所につき8〜13本で植え付けます。定植後は、浅植えにするとともに十分灌水を行い、活着を促しましょう。
●病害虫防除
▽定植前日〜定植時
◎スリップス・ネギハモグリバエ
・スタークル(顆) 50倍(0.5ℓ灌注/箱)(1回)

品質果実を取り除きましょう。
●病害虫防除
◎ミカンハダニ・ミカンサビダニ
・チャノホコリダニ
▽9月中旬まで
・ダニゲッター(フ) 2000倍(前日/1回)
◎浮皮軽減対策
秋季の高温や多雨は、浮皮の発生を助長します。園内が多湿にならないよう風通しを良くすると共に、バイカルティ1000倍(3回以内)を防除の際に加用しましょう。

◎ミカンサビダニ
・サルファゾル 400倍(随時)
◎貯蔵病害
・トップジンM(水) 2000倍(前日/5回)
または
・ベンレート(水) 400倍(前日/4回)
または
・ペフラン(液) 25 2000倍(前日/3回)
*収穫1週間前に散布することで予防効果を高めることができます。
*ペフランは、多湿園では着色ムラを生じることがあるため使用しないでください。

●極早生の収穫が始まります。
●樹上選果
極早生の中でも早熟系統の品種の収穫が9月下旬から始まります。収穫前に、品質の劣る日焼け果や傷果を取り除きましょ。また、減酸が極めて早く進みますので、適期収穫に努めてください。
●仕上げ摘果
早生・中晩生種については、品質の仕上げ期になりますので、仕上げ摘果や低

農機ハウスローン プラスアップ

実施期間 2020年12月30日*まで

年 **0.2%** 保証料負担なし

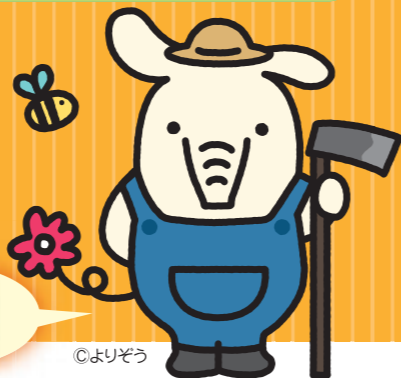
- 農機具に
- ハウスや農業用倉庫に
- 農地の購入・改良に
- 果樹・花木・畜産に



- **ご利用いただける方**
組合員の方、農業法人、農業団体など
※個人の方のご利用は、原則として、貸出時の満年齢が20才以上かつ完済時の満年齢が80才未満の方に限ります。
- **ご融資金額**
100万円以上1億円以内
- **お使いみち**
・農機具（中古農機・軽トラ等を含む）の購入
・ハウスや農業用倉庫の建設
・農地の購入や改良
・果樹や花木等の植栽や育成
・家畜の購入や育成
・発電・蓄電設備の取得
※ただし、売電目的の太陽光発電設備は除きます。
- **ご融資期間**
20年以内（お使いみち、JAにより異なります）

- **ご返済方法**
元金均等返済、元利均等返済（年1回、年2回、または毎月返済）
- **担保・保証**
和歌山県農業信用基金協会の債務保証（場合により担保、保証人が必要となります。）
・保証料（年0.33%）をJAが全額助成します。
※予算枠に達し次第終了となります。（保証料率は令和2年1月現在のもの）
- **標準金利を1.2%とし、借入実行日から最大3年間はJAバンク利子補給（補給率は1%）を適用します。**

- **JAバンク利子補給適用終了後は、JAによる1%金利引下げ措置を4年間適用します。借入実行日から8年目以降の金利についてはJAにご確認ください。**
- **その他**
・お申込みの際には、所定の審査をさせていただきます。
審査の結果によっては、ご希望に沿えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
・詳しくはJA窓口または渉外担当者におたずねください。



農業経営をサポートします!!

お問い合わせは、
JAわかやま各支店窓口または
渉外担当者まで

JA/JA和歌山信連
<http://www.jabank-wakayama.or.jp/>

JAバンク 和歌山 検索



廃棄農薬の回収について (予告)

近年、環境保全問題に対する社会の関心が高まる中で、不要農薬による危被害防止と産業廃棄物としての農薬の適正・確実な処理・処分を行うため、下記のとおり廃棄農薬の回収を行います。

ご希望の方は、注意事項を厳守のうえ、回収場所に持ち込みをお願いします。

回収日 (予定) 令和2年11月9日(月)・10日(火)・11日(水)
※**指定日以外は受付不可です。**

時間 8:30~15:00

回収場所 西部営農センター・北部営農センター
中央営農センター・南部営農センター
東部営農センター（10月12日オープン）

処理費用 農薬によって異なりますので、上記回収場所にお問い合わせください。

注意事項

- ① 廃棄農薬は、当JAからの購入分に限りさせていただきます。
- ② 廃棄農薬は、破れ・破損等により流出・飛散しないよう密封し、ご持参下さい。
- ③ 回収日以外はお引き受けできません。
- ④ 回収処理代金は、現金または貯金振替となります。
- ⑤ 廃棄農薬の持ち込みの際、委任状に住所・氏名をご記入いただき、認印を押印していただきますので、**印鑑を必ずご持参下さい。**委任状は営農センター窓口にご用意しています（産業廃棄物処理に関する権限の委任に使用します）。

2020年度 野菜価格安定基金 交付実績 (対象販売期間 1月~3月)

価格安定基金が次の通り交付されましたのでお知らせします。

品目	交付金額(円)	件数	入金日
ブロッコリー	1,185,981	92	6月24日
シュンギク	1,732,063	26	6月24日
コマツナ	1,071,044	46	6月24日
秋冬ダイコン	35,261,000	56	7月30日
秋冬ハクサイ	17,571,797	135	7月30日
冬キャベツ	35,027,267	289	7月30日
ホウレンソウ	94,000	30	7月30日
合計	91,943,152	674	

野菜価格安定基金とは、産地と県および国が一定割合で資金を造成し、野菜の市場価格が基準額を下回った際に生産者に交付することで、農業経営に及ぼす影響を緩和する制度です。
JAは、農業所得の安定を図るために加入しています。

野菜移植機レンタルサービス 申し込み受付中!!

レンタル利用対象者

JAわかやまの組合員

利用時間

利用時間の単位は1日(8:30~17:00)です。

お願い

レンタル農機は組合員皆さまの資産です。
適正な使用を心掛けてください。

利用料

野菜移植機（半自動・往復2条植え）
5,000円（税込）/1日

※回送・洗浄・メンテナンス費を含みます。



野菜移植機レンタルサービスの詳しい利用方法・利用規約については、お気軽にお問い合わせください。

西部営農センター ☎480-3450
中央営農センター ☎471-0102

北部営農センター ☎464-4560
南部営農センター ☎444-0390